

特別展&特別企画 Information

「特別展 三國志」／「御即位記念特別展 正倉院の世界」

「特別企画 奈良大和四寺のみほとけ」……2、3

「松方コレクションの浮世絵版画」……3

「親と子のギャラリー」「日本のよろい！」……5

「特集 平成30年度新収品」……6

総合文化展 Pick up!

(本館／東洋館／平成館／法隆寺宝物館／黒田記念館)……7、11

トーハクの調査研究②……9

みどりのライオン(教育普及事業)……12、13

トーハクくんのなるほトーハク……13

イベント&インフォメーション……14、15

2019年6・7月の展示・催し物……16

東京国立 博物館 ニュース



今号の名品

「重文 紺糸威南蛮胴具足」

4ページに掲載してるほ!





**神格化された名武将の姿を
今に伝える**

関羽像

青銅 明時代・15～16世紀
新郷市博物館蔵

スリムな体格からみならざる力。
伝世像屈指の「美関羽」です



曹操の墓と決定つけた文物

石牌 魏武王常所用格虎大戟

石製 後漢～三国時代(魏)・3世紀 2008～2009年、
河南省安陽市曹操高陵出土 河南省文物考古研究院蔵
「魏武王愛用した虎をも打ち取る大きな戟」と刻ん
でいます。魏の武王は曹操を指します

観覧料：一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円) *()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展覧会公式サイト<https://sangokushi2019.exhibit.jp/>

日中文化交流協定締結40周年記念

特別展「三国志」

最新の発掘成果と日本初公開の
作品が盛りだくさん!

7月9日(火)

9月16日(月)祝

平成館
特別展示室

中国での発掘調査の進展は、三国志について多くの新知見をもたらしました。曹操高陵から出土した多数の石牌は、様々な品物の名を刻み入れたものです。実物の代用として副葬したのでしょうか。質素儉約を励行した曹操の人柄が偲べれます。河南省焦作市から集中的に出土する壮麗な穀物倉の模型は、当地が肥沃な土地柄であったことを示します。ここは魏の文帝曹丕が後漢王朝のラストエンペラー 献帝にあてがった土地。後漢が減んだ後も献帝が厚遇されていたことをうかがわせます。こうした出土文物はもちろんのこと、伝世する像の中でも屈指の優品と呼び声高い関羽像もお出まし。どきどきわくわくの三国志展がこの夏開催です。どうぞお楽しみに。(市元壘)



**肥沃な土地柄を物語る
穀物倉の模型**

三連穀倉様

土製、彩色 後漢時代・2世紀 2005年、河南省焦作市建設銀行工地出土
焦作市博物館蔵

円筒形の穀物倉を3基並べています。鮮やかな彩色にも注目です

御即位記念特別展

「正倉院の世界

—皇室がまもり伝えた美—

正倉院宝物と法隆寺献納宝物が
夢の共演

10月14日(月)祝

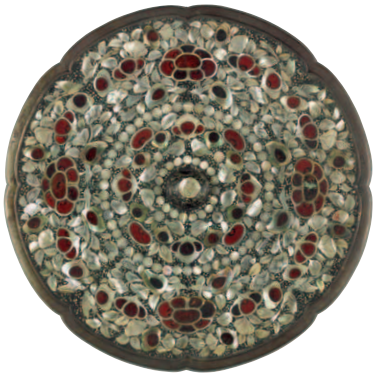
11月24日(日)

平成館
特別展示室

この度、天皇陛下の御即位を記念して、皇室により守られた代表的な文化財である正倉院宝物と法隆寺献納宝物に焦点を当てた特別展を開催します。

御慶事に際し、古代の東西交流を物語る、世界的にも希有な文化遺産を広く公開することは、日本文化の世界発信という意味でも大変意義の深いものです。特に両宝物を同時に展示することで、漆胡瓶(正倉院宝物)と国宝 電首水瓶(法隆寺献納宝物)など夢の共演が可能となりました。

また螺鈿紫檀五絃琵琶や黄熟香(蘭奢待)、白瑠璃碗など、正倉院宝物を代表する至宝が勢揃いします。そのほかに、明治時代以降本格化した正倉院宝物の調査や修理にも光を当て、伝統文化の継承に果たした大きな役割もご紹介します。どうぞご期待ください。(三田覚之)



ため息の出るような華麗さ

平螺鈿背八角鏡

唐時代・8世紀 正倉院宝物

展示期間：11月6日(水)～11月24日(日)

琥珀や螺鈿、トルコ石をはじめ込めています



古代東洋の工芸史上、最高の傑作

螺鈿紫檀五絃琵琶

唐時代・8世紀 正倉院宝物

展示期間：10月14日(月・祝)～11月4日(月・休)

古代インドに起源を持つ現存唯一の五絃琵琶。

玳瑁(ウミガメの鱗甲)や螺鈿による装飾が圧巻

観覧料：一般1,700円(1,500円/1,400円)、大学生1,100円(900円/800円)、高校生700円(500円/400円) *()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展覧会公式サイト<https://artexhibition.jp/shosoin-tokyo2019/>



天下の名香として名高い香木

黄熟香(蘭奢待)

東南アジア 正倉院宝物

足利義政や織田信長がこの香木を得たいと熱望し、一部を切り取った事績は有名で、近代になっても明治天皇が行幸した折に切り取られています



小形でかわいらしい優品

◎菩薩半跏像

奈良時代・8世紀 奈良・岡寺蔵
思い悩んだ表情を示す伏し目が、まるで微笑みをたたえているかのようにも見える愛らしい像

ふっくらとした頬と衣文線が美しい名品

◎十一面観音菩薩立像

平安時代・9～10世紀 奈良・室生寺蔵
金堂の本尊伝釈迦如来立像（業師如来立像）の脇侍としてつくられたとみられ、業師、観音、地藏の独特の三尊を構成していました

特別企画

「奈良大和四寺のみほとけ」

国宝4件、重文9件、傑作が本館11室にてお出まし

創建が7世紀末にさかのぼるとみられる岡寺は、日本最大の塑像、如意輪観音菩薩坐像を本尊とする観音霊場です。岡寺からはバラエティに富んだ仏像がお目見えます。この本尊の胎内仏だったという伝承のある重文菩薩半跏像は、目を伏して瞑想する様がまるで微笑んでいるようにも見える愛らしい像です。また岡寺を開いた義淵僧正の肖像と伝えられるのが、国宝義淵僧正坐像。顔に刻まれる深い皺や泰然自若としたたずまいに、理想的な高僧の姿が反映されています。

龍神信仰の聖地でもある、深山幽谷の室生寺からは、一木彫像の傑作の数々がお出ましになります。なかでも国宝十一面観音菩薩立像は、ふっくらとした頬が優しさを感じさせ、観音の慈愛を体現しているようです。（皿井舞）

日本古代の高僧像の名作

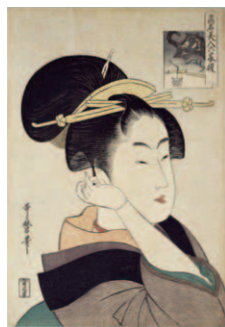
◎義淵僧正坐像

奈良時代・8世紀 奈良・岡寺蔵
深く刻まれた皺に深い精神性を感じさせます



画像提供：奈良国立博物館

6月18日(火)
▼
9月23日(月・祝)
本館11室



江戸の美女の色香漂う1枚

第二期

高名美人六家撰・辰巳路考

喜多川歌麿筆
江戸時代・18世紀
江戸の美女6人を描いた作品の1つ。深川の人気芸者がモデルです



新千円札のデザインに採用されました！

第一期

富嶽三十六景・神奈川沖浪裏

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
自然をそのままに描くのではなく、誇張を加えたダイナミックな構成が高い効果をもたらしています



さすが写楽、人物描写の妙技！

第四期

◎大谷徳次の奴袖助

東洲斎写楽筆
江戸時代・寛政6年(1794)
刀に手を掛け口を一文字に結び、片肌脱ごうとする姿がコミカルに描かれています



ダイナミックな構図に目を奪われる

第三期

讀岐院眷属をして為朝をすくふ図

歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
時のベストセラー、滝沢馬琴の「椿説弓張月」の1シーンを描いています

苦難を乗り越えたコレクション。松方幸次郎の偉業
松方コレクションの浮世絵版画

本館10室

第一期：6月4日(火) ↓ 6月30日(日)
第二期：7月2日(火) ↓ 7月28日(日)

第三期：7月30日(火) ↓ 8月25日(日)
第四期：8月27日(火) ↓ 9月23日(月・祝)

実業家、美術コレクターとして名高い松方幸次郎収集の浮世絵版画は、宮内省を経て皇室博物館（現在の東京国立博物館）に収蔵され、当館の浮世絵コレクションの中心をなしています。

この度、国立西洋美術館で開館60周年を記念して開催される「松方コレクション展」の連携企画として、6月から9月の間、4期にわたり、本館10室を松方コレクション

の浮世絵で構成します。松方コレクションの浮世絵版画は、初期浮世絵版画が充実し、浮世絵版画発展の歴史を辿ることのできるコレクションです。墨一色の版画から色彩を増し、錦絵へと展開していく浮世絵版画の流れを、国立西洋美術館で公開される西洋美術の優品とあわせ、この機会にぜひお楽しみ下さい。（大橋美織）

国立西洋美術館開館60周年記念「松方コレクション展」(6月11日(火)～9月23日(月・祝))の詳細は国立西洋美術館ウェブサイトをご覧ください。

今号の名品

2019年6-7月号

重文 紺糸威南蛮胴具足

6月4日(火)~8月25日(日)
本館5・6室

異国風の奇抜なデザインと高い機能性をあわせ持つ甲冑

文物の中に甲冑もありました。日本の伝統的な甲冑に比べ、鉄砲の攻撃に強く、見た目も斬新な西歐甲冑は、当時大変珍しかったこともあり、戦国武将たちの注目を集めたようです。このような、西歐甲冑の兜や胴を日本で仕立てたり模造したものを南蛮兜や南蛮胴、あわせて南蛮胴具足などと呼んでい



とんがり帽子のような兜にツルンとした胴。この甲冑、どこか異国風な感じがしませんか？それもそのはず、西歐の甲冑をベースに日本風に仕立てたものなのです。戦国乱世から天下統一へと向かう16世紀後半、西歐から宣教師や商人たちが布教や貿易のために来日するようになり、南蛮人と呼ばれた彼らがもたらした様々な

能があります。首まわりを守る鞆は日本製で、黒漆塗の鉄板札を紺糸で威して(綴つて)います。兜を飾る白毛は輸入されたヤクの毛です。顔を守る面頬は日本製で、鉄板を打ち出して厳めしい形相を表しています。こうした人面をリアルに表現した防具は日本独特のもので、イエズス会宣教師のルイス・

ます。本品はその一つで、徳川家康の天下取りを支えた徳川四天王の一人として名高い榊原康政(1548~1606)が、関ヶ原合戦(1600)の直前に家康からもらい受けたものと伝えられています。兜は本体が西歐製とみられ、二枚の鉄板を中央でつなぎ合わせて流線形に打ち出ししており、鉄砲や槍の攻撃を反らす機

フロイス(1532~1597)は「悪魔の半面」と記しています。胴の本体は西歐製のもので日本で忠実に模したものとみられ、正面と背面をそれぞれ一枚の鉄板から打ち出し、正面は兜と同じように鋭く突き出した流線形になっています。腰まわりを守る草摺は日本製で、黒漆塗の革板札を紺糸で威し

◎紺糸威南蛮胴具足 安土桃山時代・16世紀



て(綴つて)います。その他、籠手・備前・脇当も日本製です。総重量は14・48kgあり、同じ時期の日本の甲冑と比べるとかなり重いです。このように、南蛮胴具足は西歐甲冑をベースにしつつも細部を日本仕様にするので、高い防御力と機能性、そして和洋折衷の造形美を兼ね備えていることが特徴です。また、西歐甲冑は表面をピカピカに磨き上げますが、本品は錆地仕上げにしています。これも日本的な美意識によるものかもしれません。徳川家康は南蛮胴具足がよほど気に入っていたようで、本品のほか日光東照宮(栃木県)や紀州東照宮(和歌山県)にも家康ゆかりの南蛮胴具足や南蛮兜が伝わっています。同じ天下人の中でも織田信長や豊臣秀吉に比べるとやや地味な印象がありますが、甲冑から見ると家康もまた国際感覚と進取の気性に富んだ人物であったことがわかります。(佐藤寛介)

夏休みはトーハクマサムライ気分！

日本のよろい！

日本のよろい（甲冑）は、武士が身を守る道具であると同時に、様々な工芸技術を結集した総合芸術品です。戦場での活躍をアピールするために、人目を引く美しさも求められ、そのデザインには武士の好みが強くと表れています。

実物のよろいと現代につくられたよろいの製作見本を展示し、その見どころや魅力をわかりやすくご紹介いたします。日本のよろいがよくわかる、もっと好きになる展示です。

（佐藤寛介）



ポイント1

実物ならではの大きさや質感、
細やかな装飾に注目！

におうとうくそく
仁王胴具足
安土桃山時代・16世紀

髪の毛や肉体をリアルに表現したよろいです。戦場でもさぞ目立っただしょう

よろいはカッコイほー



目立つことも大切なのね！

ポイント2

デザインにこめられた
意味を読み解こう！

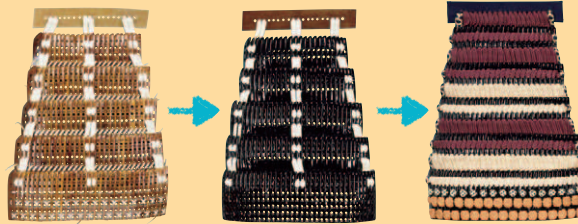


むらさきすこおとしのすしわかふと
紫裾濃威筋兜

江戸時代・18世紀 松平直亮氏寄贈

立物（正面の飾り）は、**鯉**と**龍**。
どちらも武士が好んだデザインです

腰まわりを守る **草摺** ができるまで



- ① 革製の小札を連ねて札板をつくる
- ② 札板に黒漆を塗って補強する
- ③ 札板を紐で威す(つづる)

かっちゅうせいさくみほん
甲冑製作見本

平成19年(2007) 個人蔵

日本のよろいはさまざまな材料や技術で作られています

本館特別2室

7月17日(水)

9月23日(月・祝)

ポイント3

材料やつくり方、
表面から見えない部分が見どころ！

ファミリーワークショップ 「おどし体験！」

日本のよろいの中には、「小札」と呼ばれる小さい板を、何千枚も紐で結び合わせてつくられたものがありました。小さいパーツ同士を紐で結び合わせることを「おどし」といいます。「小札」に小さい穴に色とりどりの紐を通す「おどし」のテクニックで、かっこいい飾りをつくってみましょう！

※作品はお持ち帰りいただけます。

日時：①8月20日(火) 10:00～12:30

②9月7日(土) 10:00～12:30 ③9月7日(土) 14:30～17:00

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：小学生～中学生とその保護者のペア

定員：各回10組20名(いずれも参加者多数の場合は抽選)

参加費：1組3,000円(また、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイト上のフォームからお申込みください。

申込締切：7月24日(水) 必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

教育普及室「おどし体験！」係

「おどし」といっても怖くないほー！



日本文化体験「日本のよろい！」

期間：7月17日(水)～9月1日(日) 会場：本館特別4室

写真や絵では見たことがあるけど、知らないこともたくさんある、日本のよろい。親子のギャラリー「日本のよろい！」を見た後は、1階の体験コーナーへようこそ。よろいのパーツを触ったり、かぶとをかぶったりできる、体験型の展示です。武士がたくさん描かれた屏風(レプリカ)を見て、よろいがどんなふうに着られていたのかを想像してみてください。

「よろい着用体験」

よろいって、どうやって着るのでしょうか？ 着て動くことはできるのでしょうか？ 実際によろいを着て体感してみましょう！

日時：7月19日(金)、20日(土)、26日(金)、27日(土)、

および8月中旬の金・土曜日 11:00～16:30(受付10:50～16:00)

定員：各日22名(1人につき1回1種類のみ。着用時間：約10分)

参加費：1,000円(また、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

※当日受付。事前申込はできません。

※定員に達した場合、16:00前でも受付を終了します。

お問合せ：TEL 03-5777-8600

(ハローダイヤル)

よろいを着られるなんてワクワクするわね！



※体験で使用するかぶとは異なります



特集

平成30年度 新収品

平成館企画展示室

6月4日(火)

)

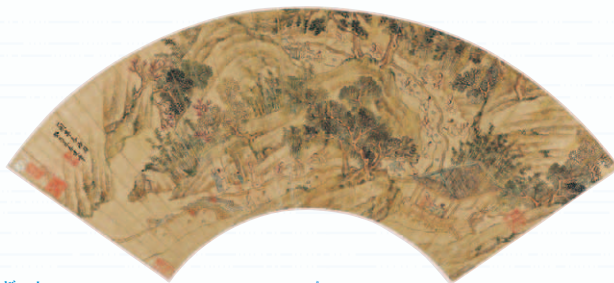
7月15日(月・祝)

昨年度、新たにトーハクの収蔵品に加わった作品をお披露目する展示です。
「文化財の収集」は、トーハクの最も重要な事業の一つです。その成果と意義をご紹介します。

付属品が作品の
貴重さをより裏付ける

あみだにょらいりゅうぞう
阿弥陀如来立像
江戸時代・17世紀
村松康雄氏寄贈

江戸時代、全国に勢力を拡大した浄土真宗の寺院では、指導者である本願寺門主が末寺や道場に本尊として仏像を授与することがありました。本像に付属する「木仏裏書」はその証明書とみられ、本願寺12世で、西本願寺の祖である准如(1577～1630)が慶長19年(1614)に発行したことがわかります。像自体はやや古風ながら一般的な姿の阿弥陀如来像で、当時の信仰を伝える貴重な遺品といえます。(西木政統)

おうぎし
王羲之の宴を伝える扇

らんていしゆんけいすせんめん おうげんしやう
蘭亭春禊図扇面 王建章筆 明・崇禎6年(1633) 比屋根郁子氏寄贈

明代末期から清代初期に活躍した書画家による扇面を集めた「明賢集扇帖」(全10面)の内の一面。王建章は福建出身の文人画家で、江戸時代の儒学者・頼山陽(1780～1832)以来、特に日本で高く評価されました。王羲之(303～361)が、永和9年(353)の春、蘭亭で開いた曲水の宴が、繊細な筆線と端麗な彩色で見事に表されています。(植松瑞希)



鮮やかな発色が懐石を彩る

ひなまむこうつけ ひぜん
緋襷向付 備前 安土桃山～江戸時代・16～17世紀 等々力孝志氏寄贈

緋襷とは、窯詰めの際に製品同士を熔着を防ぐために間に入れたワラのアルカリ成分と土の成分とが化学反応を起こし、緋色に発色したものをいいます。焼き締め陶(釉薬を施さない陶器)に表情を加える装飾として珍重されました。

備前焼は信楽焼とともに、国産の陶器としては最も早く、室町時代後期に茶席に取り入れられました。この作品は日用の雑器である播鉢を象っていますが、懐石の向付として詠えられたもので、五客揃いで伝わっています。(今井敦)



猛禽と蛇の不思議な組合せが魅力的

がたがざ かなぐ
ガルダ形飾り金具

カンボジア周辺 アンコール時代・12～13世紀 高橋孝治氏寄贈

輿の担ぎ棒の先端を装飾するために取り付けられた金具で、猛禽のガルダが蛇のナーガの口から吐き出された場面を表しています。

ガルダやナーガは、いずれもインド神話に起源を持ち、やがて仏教やヒンドゥー教にも取り入れられたことから、インドのみならず東南アジアにも広く伝播しました。

この作品からも、アンコール王朝の人々にとってガルダやナーガが身近な存在であったことが伝わってきます。(勝木言一郎)



(部分)

源氏物語を表す細やかな雑道具に注目

ひなにんぎやうおよ ひなどうぐ
雛人形及び雑道具 江戸時代・19世紀 前川富士子氏寄贈

京都製の人形と江戸製の雑道具からなる一式で、今回はその一部を展示します。大の字形の牡丹文が特徴的な「七澤屋物」と称される雑道具や、源氏物語を表した雑道具など、江戸の地における細密雑道具の頂点を示す作品といえるでしょう。人形を収める御殿は後世に詠えられたものですが、いわゆる源氏杵の優品として貴重です。(三田覚之)

Pick up!

本館

美しく、力強い装飾

火焰型土器

6月25日(火)～12月25日(水)

1室 日本美術のあけぼの



火焰型土器
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土
燃え盛る焔のような装飾が、その名の由来となった縄文土器

縄文土器といえば誰もがまず思い浮かべるのが火焰型土器。縄文時代中期中葉に信濃川流域で盛んに作られた土器で、煮炊き用の鍋として使われました。縄文学の父とも呼ばれる山内清男(1902～70)は、縄文土器特有の特徴として縄目模様に加え、口縁部が波状をなすことや突起で飾られることをあげました。火焰型土器には縄文土器の持ち味の一つである縄目模様はありませんが、口縁部には鶏冠のような大ぶりの突起や鋸の歯のような小さな突起が連なります。使い勝手を度外視したかのような力強い装飾が見どころの火焰型土器ですが、その造形美には、当時の人々の技術や世界観も映し出されています。(品川欣也)

本館

平安貴族たちが考える恐ろしい死後の世界

国宝 餓鬼草紙

7月9日(火)～8月4日(日)

2室 国宝室



(部分)
餓鬼草紙
平安時代・12世紀
宴に興じる貴族たちに
忍び寄る餓鬼の姿。
日常のなかの恐怖です

仏教で人は死後、生前の行いにより六つの世界(六道)に転生すると説かれています。この「餓鬼草紙」は六道の一つ、餓鬼道の苦しみを描く絵巻です。餓鬼道は欲深い人間や嫉妬深い人間が墮ちる世界で、食べ物や飲み物を口にすることができず、常に飢えと渴きに苦しみます。この状態が約1万5千年続くといいますから、この世界に転生しないよう、日頃の行いには気を付けたいところです。

この絵巻は「地獄草紙」など、他の六道を描く作品とともに制作されたと考えられています。平安貴族たちの考える死後の世界を垣間見させる作品です。(土屋貴裕)

本館

様々な人たちがより伝わった貴重な書

重文 和漢朗詠集 上帖

6月4日(火)～7月15日(月・祝)

3室 宮廷の美術



(部分)
和漢朗詠集 上帖
伝寂蓮筆 鎌倉時代・13～14世紀
「和漢朗詠集」上巻から夏の部分をご紹介します

「和漢朗詠集」すべてを88枚に書写して貼り付けた折帖をご紹介します。平安時代・11世紀から和漢朗詠集は流行しますが、完存して伝わる数は少ないので貴重です。平安貴族が知識として必要とした漢詩と和歌をテーマごとに集めた歌集で、藤原公任(966～1041)が娘婿の為に編纂したと言われています。裂貼表紙の豪華な装丁で、江戸時代は大名などが所持したのでもしうか。安永元年(1772)の神田道傳定武(1710～73)の極めにより、寂蓮筆と伝称される鎌倉時代の書です。その力強く癖の強い書風をお楽しみください。(恵美千鶴子)

本館

まるで図鑑を見ているかのような描写に注目

博物館魚譜 第1帖

6月18日(火)～8月18日(日)

15室 歴史の記録



博物館魚譜 第1帖
キンメダイ
博物館編 栗本丹洲他筆
江戸～明治時代・19世紀
高橋由一(偕之助)の手になる
キンメダイの図。1864年制作

幕末から明治期に活躍した博物学者・田中芳男(1838～1916)は、膨大な動物や植物の写生図を収集、スクラップブックのような形で博物館に残しました。これらは江戸時代の博物図譜からの切り抜きが大半を占めていますが、種類によっては新たに作画し加えています。この魚類図鑑「魚譜」は10人の筆になる1846点の図版が収録されており、蕃書調所で洋画を学んでいた若き日の高橋由一(1828～94)の手になる図も含まれています。このように同じ場面に次々貼り重ねていく製作方法は、江戸時代に盛んに行われたもので、まさに図鑑を見るよういつでも迫真の描写です。(富坂賢)

東洋館

邪悪を追い払う、迫力満点な表情

鬼神像頭部

6月4日(火)～9月1日(日)

3室 西域の美術

クムトラ石窟が所在する中国新疆ウイグル自治区クチャ県は、かつて龜茲国とい、シルクロードのオアシス都市国家として栄えた地域で、当時仏教が篤く信仰されていました。それは日本人にもなじみの深い『阿彌陀經』や『法華經』を漢訳した僧侶の鳩摩羅什を輩出したことからもうかがわれます。クムトラ石窟はクチャを代表する石窟寺院の一つで、当時の仏教文化をよく反映しています。鬼神は仏教の守護神として邪悪なものを追い払うために、目を見開き、眉を吊り上げ、口を大きく開いています。こうした顔の表情に西域独自の作風を読み取ることができます。(勝木言一郎)



鬼神像頭部
中国・クムトラ石窟出土 7～8世紀
大谷探検隊将來品
鬼神像の表情に西域独自の作風を読み取ることができます

東洋館

緻密かつ彩色豊かな絵付けに注目

粉彩丸文碗

7月17日(水)～11月17日(日)

5室 中国の陶磁

満州族からなる清王朝は、乾隆帝(1735～95)を中心にして、歴代王朝の文物を蒐集し、そして倣古品をつくることに力を注ぎました。陶磁器は厳しい管理のもと、宋の官窯青磁や、明の景德鎮官窯で焼かれた青花、五彩が次々と再現され、さらにヨーロッパから有線七宝の技術をとり入れて粉彩という究極の絵付けを施した製品も新たに生み出されました。



粉彩丸文碗
中国・景德鎮窯
「大清道光年製」銘
清時代・道光年間
(1821～50)
広田松繁氏寄贈

まるで細密画のような絵付け。桃色の地には針描きで唐草を施すなど技巧を凝らしています

今回の展示では、東博コレクションを代表する横河民輔、および広田松繁寄贈品のなかから、康熙年間(1662～1722)から道光年間(1821～50)のあいだにつくられた五彩、粉彩、豆彩など、表現の異なる優品を選び、ご紹介いたします。(三笠景子)

東洋館

様々な書体を取り入れた妖美な書

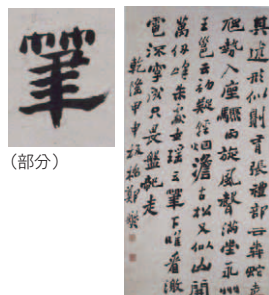
楷書懷素自叙帖語軸

6月18日(火)～7月28日(日)

8室 中国の書跡

どこか古めかしく、怪しげな雰囲気漂う一幅です。この奇怪な味わいは、見慣れない形の文字によるものでしょうか。異体字を使用したり、篆書の造形や隸書の筆法を楷書や行書に取り入れたりしています。筆者は一幅の書一つの文字に、異なる書体の書きぶりを一体化させ、奇異に満ちた斬新な書風を創出したのです。

筆者の鄭燮(1693～1765)は、清時代前期・18世紀に江蘇省揚州で活躍した書画家です。創造性豊かな作風で人気を博し、のちに金農らとともに揚州八怪と称えられました。今回は、強烈な個性を發揮した明の遺民の朱耷や揚州の諸家など、清時代前期の多彩な書をご紹介します。(六人部克典)



楷書懷素自叙帖語軸
鄭燮筆 中国・清時代・乾隆29年(1764)
奇怪な造形を生み出す、変化に富んだ筆使いも見どころです

東洋館

血のような紅と奇妙な形に惹きこまれる

鶏血石硯山

8月4日(日)

9室 清時代の工芸



鶏血石硯山
中国・清時代・19世紀
神谷伝兵衛氏寄贈
鶏血石の表裏には、溪谷で戯れる馬たちが浮き彫りされています

中国には、奇妙な姿の石を好む奇石趣味というものがありますが、どうやらこれは宋の米芾あたりがはじめたもののようです。ここに紹介する硯山も、珍奇な石を加工して書齋に飾ったものであり、そういった奇石趣味の一つとして理解されるでしょう。本作品は、灰色の石に浮き彫りを施し、最後に赤いインクをザアッと浴びせたような感じになっています。この赤色は辰砂といい、石に含まれている硫化水銀の成分です。鮮やかな赤色を鶏の血に見立てて、このような石を鶏血石といいます。石の形を溪谷に見立てて、表裏に川のほとりで馬たちが戯れる情景が表されています。(猪熊兼樹)

Pick up!

平成館

葬送儀礼に使われた容器

石製埴せきせい けいと石製器台せきせい ぎだい

6月4日(火)〜2020年5月31日(日)
考古展示室

古墳の葬送儀礼では、土器を用いたマツリが行われました。本作品は「X」字形の器台の上に、口縁部が長く伸びた埴けい(小壺)がのつています。いずれも、淡い緑色をした軟らかい石でつくられた石製品。かつて古墳で行われた土器祭祀をイメージさせます。



上: 石製埴
下: 石製器台

古墳時代・4世紀
愛知県東海市兜山古墳出土
セットである器台と埴はていねいに仕上げられ、ピタリと組み合います
*実際の展示では、上下ではなく横並びで展示されます

(河野一隆)

法隆寺宝物館

怒りの表情をみせる仏を表したベル

重文 五大明王鈴ごだいみょうおうすずり

通年
第5室 金工



◎五大明王鈴
中国 唐時代・8~9世紀
今は失われていますが、握り手の先には先の尖った飾りがありました

五大明王鈴は、不動・降三世・大威徳・軍荼利・烏芻沙摩の5体の明王像を、立体的に表した金剛鈴です。金剛鈴とは、仏教の宗派の一つである密教の儀式で使われる仏具で、儀式の行われる壇の上に置かれ、振って鳴らししました。表されている五大明王も密教特有の仏像で、みな怒りの表情をみせ、複数の手や顔を持つものもあります。鳴らす音で人の心の奥底に眠る仏心を呼び覚まし、怒りの仏が煩惱を焼き払うのです。

同じ種類の五大明王鈴で「金銅五大明王五鈴」という作品が、7月2日(火)から9月16日(月・祝)まで本館13室で展示されますので、ぜひ比べてみてください。
(伊藤信二)

黒田記念館

黒田の目に映った鎌倉の空

雲

7月9日(火)〜9月29日(日)
黒田記念室



雲 黒田清輝筆
大正3~10年(1914~21)
[画像は6面のうち2面]
黒田の作品のなかでも「この絵が好き!」というファンが多い、印象的な連作です

日本近代の洋画壇に揺るぎない地位を築いた黒田清輝は、明治時代の末頃より鎌倉の材木座に別荘を構え、その地で自然のうつろいに敏感に反応した小品を多く描いています。なかでも折にふれ、手がけたのが雲のモチーフでした。現在、6枚1組の作品として伝わる「雲」は、日によって、また時刻によって様々に姿を変える雲の表情を描きとめています。背景としてでなく、メインモチーフとして雲に注視した、そのまなざしからは黒田のこまやかな感性がうかがえます。
(東京文化財研究所・塩谷純)

トーハクの調査研究②

海外調査の「コマ」特別展「三国志」より

博物館の重要な使命の一つである「調査研究」。その一端をご紹介します。

白磁の出現は6世紀後半とされていますので、220年に葬られた曹操の墓から白磁が出土したとなると驚きです。でも河南省文物考古研究院の一室に、そして発掘報告書のなかに、確かにそれはありました。とはいえ、そこで「へえ、そうなんだ」と言つて物事を鵜呑みにするのは単なる思考放棄です。私は同僚の三笠とともにもう一度白磁と対面することになりました。そして私は考古学的な視点から、三笠は陶磁史的な視点から観察を重ね、これが灰を主成分とする釉をかけて高火度で焼き上げた白いやきもの、つまり白磁であり、器の形やつくり方から3世紀のものであると結論づけました。実物実地に立脚して自分の力で真実にたどり着く。これが研究者のつとめです。
(市元壘)



河南省文物考古研究院にて曹操高陵の白磁を調査(2018年12月)
海外調査は時間との闘い。全神経を注ぎ観察に集中します
手前が三笠、左から2番目が筆者です

7月 展示案内

- 4
- 3-3
- 3-2
- 3-1
- 2

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸

- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



-6/16日
花鳥図屏風
海北友雪筆 江戸時代・17世紀

(左隻)

6/18日-7/21日

◎浅間山図屏風

亜欧堂田善筆 江戸時代・19世紀
西洋の油絵を研究した成果を、日本の伝統的な屏風形式に活かしています



-7/28日
石曳蒔絵盆

江戸時代・17世紀
石材を運ぶ石曳という日常風景を蒔絵で表した作品です



-7/28日
網干蒔絵棚

江戸時代・17世紀



6/4日-7/15日

◎後鳥羽院本三十六歌仙絵
藤原元真

鎌倉時代・13世紀
松永安左エ門氏寄贈
「和歌の帝王」後鳥羽院が歌を記したと伝わる歌仙絵です

◎和漢朗詠集 上帖

伝寂蓮筆 鎌倉時代・13~14世紀 (→7ページ)



(部分)



6/4日-7/15日

◎白衣観音図 伝一之筆 室町時代・15世紀
斎藤利助氏寄贈

2mを超える巨大な観音図。謎の画家・一之の作と伝えられます



7/17日-8/25日

◎蝦蟇鉄拐図
雪村周継筆 室町時代・16世紀
(蝦蟇図)



-6/16日
◎一重口水指 銘 柴庵
信楽 安土桃山時代・16世紀
広田松繁氏寄贈

6/18日-9/8日

◎南京赤絵蓮鴛文手桶形茶入

中国・景德鎮窯 鴻池家伝来
明~清時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
吉祥の図様として人気の蓮鴛文が施されています。江戸の豪商、鴻池家伝来品



6/25日-12/25日

◎子持高坏

長野県茅野市
疱瘡神塚古墳出土
古墳時代・6世紀
五味健藏氏寄贈
器台と坏を組み合せ、古墳の祭りに用いられた特殊な須恵器です



-6/23日

◎みみずく土偶

埼玉県鴻巣市滝馬室出土
縄文時代(晩期)
前1000~前400年



6/4日-7/15日

◎等目菩薩経巻中 (吉備由利願経)

奈良時代・天平神護2年(766)
反町英作氏寄贈
吉備真備の子・由利が孝謙天皇のために発願した一切経の内の一巻です

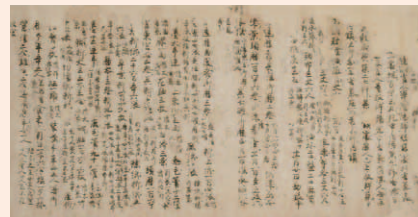


◎興福寺鎮壇具花枝双蝶八花鏡
奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
奈良時代・8世紀

6/4日-7/7日

◎延喜式 卷十六 平安時代・11世紀

律令の施行細則である式の集大成。まとまった写本として現存最古です



(部分)

7/9日-8/4日

◎餓鬼草紙

平安時代・12世紀
平安時代のお産の場面。赤ん坊をとろうと餓鬼が忍び寄ります (→7ページ)



(部分)

6/4日-8/25日

◎紺糸威南蛮胴具足

安土桃山時代・16世紀 (→4ページ)



-6/16日

◎潤漆千段巻塗打刀 (刀 無銘 郷義弘の拵)

金具：中村常親 江戸時代・19世紀
紀州徳川家伝来の刀装で、凹凸によって複雑で整然とした光沢を作り出す高度な漆芸技法が見どころです

6/4日-7/15日

◎当麻曼荼羅図

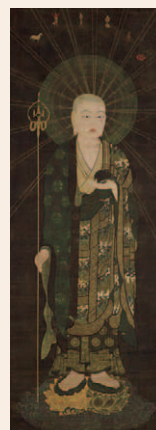
鎌倉時代・14世紀
阿弥陀如来の住む西方極楽浄土の様子が描かれています



6/4日-7/15日

◎地蔵菩薩像

鎌倉時代・14世紀
頭部の光の筋の間にある動物や人は、六道救済を表しているといわれます



7/17日-8/25日


◎地蔵菩薩像

鎌倉時代・14世紀
頭部の光の筋の間にある動物や人は、六道救済を表しているといわれます

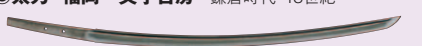
6月
本館展

-7/21① 13-2

◎**太刀 古青江正恒**
鎌倉時代・13世紀 小出英忠氏寄贈
岡山県倉敷市で栄えた青江派の初期の太刀。小模様で複雑な刃文が見どころです



◎**太刀 福岡一文字吉房** 鎌倉時代・13世紀



6/4②-6/30③ 10 浮世絵

◎**富嶽三十六景・神奈川沖浪裏**
葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
北斎の代表作。ダイナミックな波が見どころです (→3ページ)



7/2④-7/28⑤
◎**高名美人六家撰・辰巳路考**
喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀 (→3ページ)



6/4④-9/8⑤ 13-3

◎**黒染茶碗**
一入作 江戸時代・17世紀



◎**染付壇流水文皿**
鍋島 江戸時代・17~18世紀
広田松繁氏寄贈
濃淡や筆の緩急をうまく活かし、竹の環から水が流れる様子を繊細に描いています

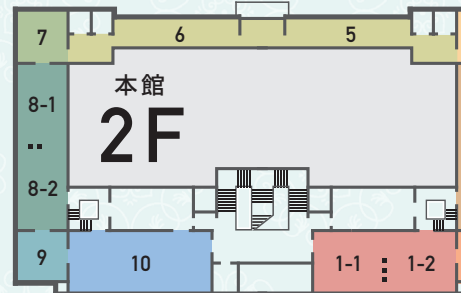


-6/23① 10 衣装

◎**小袖 白綾子地又手網模様**
江戸時代・17世紀



6/25②-8/25③
◎**帷子 黒麻地水割紅葉文字模様**
江戸時代・18世紀
武家女性が着用した夏の衣装である麻の着物。漢詩をデザイン化

6/25④-9/16⑤祝 14

◎**セージャラ(色絵花文小皿)**
沖縄本島 壺屋焼 第二尚氏時代・19世紀



◎**チューカー(藍・褐釉突起文水注)**
沖縄本島 壺屋焼 第二尚氏時代・19世紀
胴部に胎土を指で押し付けるようにして突起状の装飾を施しています



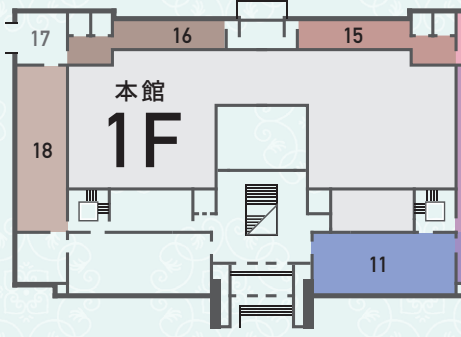
本館 1F: 11~16, 18

-6/16① 11

◎**吉祥天立像**
京都府亀岡市・大宮神社伝来 平安時代・10世紀
インド神話に由来する福德をつかさどる女神。1本の木から彫り出す、重量感あふれる表現が見どころ



◎**十一面観音菩薩立像**
奈良・室生寺蔵(→3ページ)

6/18④-8/18⑤ 15

◎**博物館魚譜 第1帖**
博物館編 粟本丹洲他筆 江戸~明治時代・19世紀 (→7ページ)



◎**九州沿海図(大図) 第十 鹿児島**
伊能忠敬作 江戸時代・19世紀
現在の隼人町・鹿児島市・穎娃町などの地域と桜島を含む伊能図です



-6/16② 12

◎**千鳥蒔絵手箱**
鎌倉時代・13世紀



6/18③-9/16⑤祝
◎**IHS七宝蒔絵螺鈿書見台**
安土桃山~江戸時代・16~17世紀
イエズス会の標章を蒔絵と螺鈿で表した聖書を置くための台



8-2

5/8④-6/16⑤
◎**雨宿り図屏風**
英一蝶筆 江戸時代・18世紀
様々な階層の人々が一つ屋根の下で雨宿りする様子がいきいきと描かれています



6/18④-7/21⑤
◎**滝図自画賛「散る玉を云々」**
仙厓義梵筆 江戸時代・文政10年(1827)
久世民栄氏寄贈



6/4④-9/8⑤ 16

◎**茶台**
北海道アイヌ 19世紀
ウーン万国博覧会事務局引継



◎**キンカブ**
奄美大島 第二尚氏時代・18世紀
大和良子氏寄贈
琉球の神女が王から授けられた簪です



7/2④-9/16⑤祝 13-1

◎**金銅八仏種子五鈴鈴**
平安時代・12世紀
密教で使われるベル形の仏具。仏を象徴する梵字が8種表されています




◎**自在鷹置物**
明珍清春作 江戸時代・18~19世紀




-6/23① 9

◎**陵王補襦 雲に龍丸模様**
江戸時代・19世紀
「陵王」は北齊の羅陵王が美貌を獅猛な仮面で隠した故事によります



6/25②-8/25③
◎**狂言面 賢徳** 江戸時代・17世紀
賢徳は犀や茸、松脂といった下級の動植物の精霊の役にもちいられます



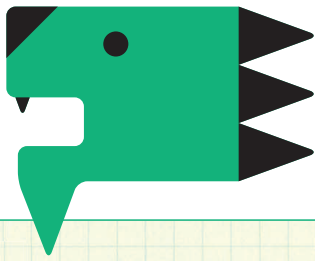
7/17④-9/1⑤ 18

◎**鶴** 下村観山筆 明治45年(1912) (部分)



-7/15⑥祝 ◎**江戸山王祭**
尾形月耕筆 明治26年(1893)
シカゴ・コロンプス世界博覧会事務局寄贈
江戸時代から続く6月に行われる祭礼。明治時代の祭りの情景です





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「日本のよろい」

*関連展示：本誌5ページ

日時：6月22日(土) 13:30~15:00

講師：佐藤寛介(工芸室研究員)

日本のよろい(甲冑)は、武具であると同時に、様々な材料や技術が集められた美術工芸品です。その見どころと魅力をわかりやすく紹介します。



一の谷馬蘭兜
安土桃山~江戸時代
16~17世紀
6月4日(火)~8月25日(日)
まで本館6室にて展示

月例講演会「東洋館で『三国志の時代』を考える」

*関連展示：本誌2ページ

日時：7月20日(土) 13:30~15:00

講師：谷豊信(特任研究員)

平成館の特別展「三国志」に合わせて、東洋館でも関連作品を多数展示します。その見どころをご紹介します。



加彩武人
西晋時代・3~4世紀
中国 中野欽九郎氏寄贈
7月17日(水)~2020年3月1
日(日)まで東洋館5室にて展示

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料

(ただし当日の入館料が必要)

*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

奈良・長谷寺の難陀龍王立像

*関連展示：本誌3ページ

日時：6月18日(火) 14:00~14:30 本館11室

講師：浅見龍介(企画課長)

長谷寺本尊、十一面観音立像の脇侍である難陀龍王立像についてご紹介します。鎌倉時代の慶派仏師の作とされています。

レンズの向こうの博物館

日時：6月28日(金) 18:30~19:00

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師：酒井晶(情報管理室アソシエイトフェロー)

研究資料からSNSまで、さまざまなシーンで使われる写真。実は博物館と深い関わりがあります。選りすぐりの写真資料とともに、博物館と研究の歴史をうかがいます。

当館所蔵の沖縄のやきもの

日時：7月2日(火) 14:00~14:30 本館14室

講師：三笠景子(特別展室主任研究員)

明治18年に購入して以来、当館で初めて一堂に展示する沖縄のやきもの。制作技法や位置づけをはじめ、沖縄の風土が生んだつぎない魅力をお話します。

邪馬台国時代の土器

日時：7月23日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師：山本亮(特別展室研究員)

三国志には、女王卑弥呼が治めた邪馬台国について記述されています。この時代に使われた土器について、近畿地方を中心に解説します。

8月4日(日)は

トーハクキッズデー

歴史の長さも所蔵品の数も日本一の博物館「トーハク」で、とっておきの思い出づくり。ミュージアムデビューも夏休みの宿題も、トーハクでどうぞ!

日時：8月4日(日)

対象：0歳~中学生とその保護者
(小・中学生だけの参加も可)

入館料：一般620円/大学生410円

*高校生以下は無料、特別展は別途料金が必要

*子どもと一緒に来館された方は100円割引



★キッズデーのおたのしみ★

★子どものためのギャラリートーク

日本のよろいのお話/日本の文字のお話/たからものお話 など

★ワークショップ

勾玉作り(→13ページ参照)/
みんなで作る貼り交ぜ屏風(ぬり絵)



★子どものためのミニコンサート

★紙芝居

作品に関連したお話の紙芝居を、展示室で行います。

★見学ガイドアプリ「学校版トーハクなび」貸出

博物館内を見学しながら、タブレットでトーハク新聞が作れます。



★キッズコーナー

授乳や離乳食のためのスペースも開設します。

このほか、託児サービス(事前申込制、有料)も実施します。

*特記以外はすべて事前申込不要、参加無料(ただし、当日の入館料が必要)

*詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

ART
2

五感を使った美術体験 ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーツアー&子どもツアー

「トーハク劇場へようこそ! 考古展示室編」

トーハクには、古い歴史をもったものがたくさん! 考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分楽しんでください。

ファミリーツアー(小学1~3年生とその保護者)

(A) 7月13日(土) 10:00~11:00

(B) 7月14日(日) 10:00~11:00

子どもツアー(小学4~6年生)

(C) 7月13日(土) 13:00~14:00

(D) 7月14日(日) 13:00~14:00



対象：(A) (B)は小学1~3年生とその保護者、(C) (D)は小学4~6年生(保護者の見学可)

定員：(A) (B)は各回10組、(C) (D)は各回20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

*子どもツアー(C、D)は対象年齢内であれば、1回の入力で3名まで申込可。

申込締切：6月27日(木)必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) 教育普及室

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

アートスタジオ

キッズデー 勾玉作り

滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。キッズデーの開催日のため、より多くの方に楽しんでいただけるよう、通常より短縮版のスケジュールです。

日時：8月4日(日) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

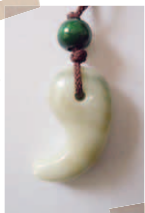
対象：小学3年生~中学生(保護者の見学可)

定員：各回先着20名

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当日9:30より、本館1階エントランスにて

①②それぞれの整理券を配布します。



事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

子どもの根付作り

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後に、焼くと固まる樹脂でできた粘土で根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：9月1日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下
みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：小学3年生~中学生(保護者の見学可)

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームが往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に①参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・学年、②参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合はそれぞれの住所)、③代表者の電話番号、④保護者が見学する場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：8月5日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「9月1日根付作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL: 03-3822-1111 (代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*👉は「ヒアリンググループ」対応、👈は「UDトーク」対応のイベントです。



きたくひん 寄託品ってなんだほ!?



平成館1階の考古展示室にやってきたトナーハクくん。

たくさんの作品がありますが、これはすべて東京国立博物館のものなのでしょうか?

今日は考古展示室に来たほ! (写真①) あれ? 題箋 (キャプション) に東京都武蔵国分寺って書いてあるほ。(写真②、③)

この土器は東京都にある武蔵国分寺所蔵という意味よ。

あ、ユリちゃんいつの間に! この作品はトナーハクのものではないんだほ?

そうなの。この作品は寄託品なのよ。

寄託品ってなんだほ?

寄託品っていうのはね、トナーハクの所蔵品ではなく、お寺や個人の方などからお預かりしている作品のことを言うの。

ほほー。ところでどうやって寄託品になるんだほ?

その作品が今後トナーハクの展示や研究に活用できるのか調べたうえ、会議で決まるのよ。

寄託品はトナーハクにどれくらいあるほ?

2019年3月末で3130件もあるの。

たくさんお預かりしてるほ!
一度寄託品になったら、ずっとトナーハクにあるほ?

所有者の方から返してほしいと言われたときはお返しすることになってるのよ。

じゃあ、この作品もいつかは返すかもしれないほー。
今のうちに写真を撮っておくほ!

ちょっと待って! トナーハクくん!

えっ!?

よく見て! 撮影禁止のマークがついてるでしょ。(写真④)

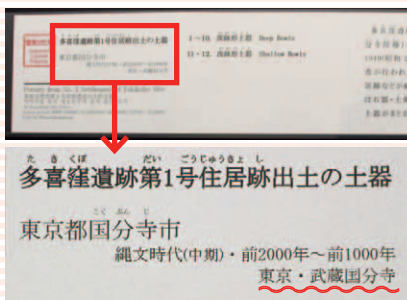
寄託品の中には所有者の方から撮影の許可をいただいていないものもあるの。だから撮影禁止マークがないかどうかを確認するようにしてね。

気をつけるほ!

みなさんも撮影禁止マークがない作品で撮影をお楽しみくださいね。



写真①



写真③



写真②



写真④

新たな解説パネルの増設

本館展示室に新たに解説パネルを設置しました。よりわかりやすい解説をめざして、その作品が展示されている理由や、作品が生まれた当時の時代や文化の背景、今回の展示コンセプトなどが、学生や外国人のお客さまにも伝わるように書かれています。また、太刀と刀の違いなど、鑑賞の導入編とも言えるような解説もあります。新しい解説パネルをぜひご覧いただき、鑑賞をより深め、よりお楽しみいただけますと幸いです。



トールク BEER NIGHT! 2019

展示を見たら、ビールで乾杯! 好評の特設ビアガーデンが今年も期間限定で平成館前庭にオープンします。上野の山の特等席で、よく冷えたビールとキッチンカーによる軽食をお楽しみください。ソフトドリンクもご用意します。

日時: 7月26日(金)・27日(土)
15:00 ~ 21:00 (L.O. 20:30)
会場: 平成館前庭 特設ビアガーデン
お問合せ: TEL 03-3822-1111 (代)
総務課イベント担当
* 荒天中止
* 詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。



休館・閉室情報

6月11日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

初夏東博寄席

日時: 6月30日(日) 開演 13:30 (開場 13:00)
会場: 平成館大講堂
出演: 金原亭馬生・金原亭馬玉・金原亭馬久ほか
料金: 2,000円 (全席自由)
* 当日は公演のチケットで総合文化展をご覧いただけます。
〈チケットのお求め方法〉
○ 当館正門チケット売場 (窓口、開館日のみ、閉館日の30分前まで)
○ ローソンチケット (Lコード: 34110)
電話: 0570-000-407 (10:00 ~ 20:00 オペレーター対応: 年中無休)
0570-084-003 (24時間自動音声・要Lコード)
ウェブサイト: <http://1-tike.com/>



○ 直接購入: ローソン・ミニストップ店頭「Loppi」
お問合せ: TEL 03-3822-1111 (代) 総務課イベント担当
* 月~金曜日の9:30~17:00 (祝休日は除く)
* イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

トリを見るのが
楽しみだほー



寄席とバード
ウォッチングの
共通点は?

東京国立博物館賛助会

賛助会は博物館事業の充実のために幅広いご支援をいただくための制度です。

◎ 主な特典
特別展内覧会へのご招待 など

◎ 年会費

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上
特別会員 100万円 (1口)
維持会員 20万円 (1口)
〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
特別会員 20万円 / 維持会員 5万円

◎ 申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト (クレジットカード決済)、銀行振込

◎ お問合せ

電話 03-3822-1111 (代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2019年4月30日現在

団体

特別会員 日本電設工業株式会社 様 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様 一般財団法人 東京国立博物館協力会 様 株式会社 大林組 様 株式会社 ミロク情報サービス 様 読売新聞東京本社 様 大日本印刷株式会社 様 公益財団法人 東芝国際交流財団 様 サロン・ド・ソネット 様 朝日新聞社 様	株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様 凸版印刷株式会社 様 株式会社 東京書芸館 様 株式会社 毎日新聞社 様 三菱商事株式会社 様 株式会社 コア 様 株式会社 三美テックス 様 TABIZURU FOUNDATION 様 株式会社 みずほ銀行 様 日本ロレックス株式会社 様 キヤノン株式会社 様	維持会員 キューコム株式会社 様 株式会社 前田酒店 様 学校法人 大勝院学園 様 公益社団法人 創玄書道会 様 朝陽書道会 様 金剛株式会社 様 株式会社 サザンランニング 様 謙慎書道会 様 株式会社 育伸社 様 株式会社 デュナミス 様 全日本空輸株式会社 様 アズビル株式会社 様	日本通運株式会社 美術品事業部 様 株式会社 インターネットインシアティブ 様 一般社団法人 書芸文化院 様 一般社団法人 学生会 様 株式会社 精養軒 様 株式会社 鶴屋吉信 様 有限会社 システム設計 様 株式会社 都市環境企画 様 公益財団法人 書道芸術院 様 株式会社 ロイスダール 様 エクスロンインターナショナル株式会社 様 株式会社 グラスバウアー・ジャパン 様 株式会社 安井建築設計事務所 様	株式会社 ナガホリ 様 株式会社 小西美術工芸社 様 株式会社 資生堂 様 株式会社 清光社 様 セコム株式会社 様 株式会社 三冷社 様 株式会社 ニッセイコム 様 株式会社 三井オカムラ 様 正筆会 様 はごろもフーズ株式会社 様 インフォコム株式会社 様 株式会社 モリサワ 様 株式会社 GIC ジャパン 様	有限会社 くんかんバーニー 様 株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様 近代書道研究所 様 株式会社 目の眼様 株式会社 東京美術 様 松本建設株式会社 様 有限会社 キャラリー・竹柳堂 様 AI開発有限会社 名古屋支店 様 日本畜産興業株式会社 様 光村図書出版株式会社 様 公益財団法人 アナチ伝統文化振興技術保存財団 様
--	--	--	---	--	--

個人

プレミアム会員 岩間良孝 様 井茂 圭樹 様 高木 天河子 様 黒田 賢一 様 特別会員 永久 幸範 様 辻 泰二 様 佐久 基晴 様 井田 悦郎 様 大山 孝良 様 田中 三伊 様 田中 御津子 様 増山 育男 様 島田 仁 様 維持会員 伊藤 匠彦 様 飯内 匡一 様 岩沢 朝子 様 高田 明子 様 齋藤 京子 様 齋藤 邦治 様 神通 豊 様 和 喜美子 様 藤原 紀男 様 関谷 徳衛 様 高橋 守 様 小澤 桂一 様 野野 的子 様 櫛田 良豊 様 長谷川 英樹 様 池田 孝一 様	池谷 正夫 様 木谷 順巳郎 様 渡久地 ツル子 様 汐崎 浩正 様 飯田 敬子 様 平井 千恵子 様 青山 道夫 様 中西 暢也 様 田中 信 様 三井 達雄 様 坂詰 貴司 様 吉田 靖 様 松本 雅彦 様 篠田 喜弘 様 山本 隆幸 様 山上 知子 様 名取 幸二 様 伊藤 喜雄 様 井上 雄吉 様 錦織 伸一 様 鈴木 幸一 様 欽元 文子 様 土師 詔三 様 鏡 賢志 様 野口 圭也 様 渡邊 雪絵 様 佐藤 禎一 様 田中 榮二 様 谷川 久子 様 山口 紀彦 様 原 隆之 様 会田 健一 様 相良 多恵子 様	鈴木 徹 様 楠 富久美 様 加藤 孝明 様 伊佐 健二 様 軽部 由香 様 北川 洋子 様 木 越 純 様 井上 保 様 田中 信 様 岡 靖子 様 古川 晴紀 様 新田 日出夫 様 岩本 光雄 様 山本 隆幸 様 山上 知子 様 名取 幸二 様 伊藤 喜雄 様 井上 雄吉 様 錦織 伸一 様 鈴木 幸一 様 欽元 文子 様 土師 詔三 様 鏡 賢志 様 野口 圭也 様 渡邊 雪絵 様 佐藤 禎一 様 田中 榮二 様 谷川 久子 様 山口 紀彦 様 原 隆之 様 会田 健一 様 相良 多恵子 様	高橋 明子 様 星 八郎 様 土屋 弘道 様 西永 義久 様 田浦 宏己 様 山中 翠谷 様 荒木 章 様 柳村 衛 様 榑澤 剛志 様 小日向 志乃 様 松前 達郎 様 佐藤 貴士 様 新保 幸男 様 中野 俊介 様 土屋 和彦 様 榑田 栄一 様 加納 幸一 様 林 和人 様 清水 透石 様 野本 陽代 様 佐藤 美善 様 横田 隆義 様 樋口 順一 様 吉 喜代子 様 竹内 明生 様 平田 泰之 様 武井 伸之 様 羽石 史生 様 長瀬 正行 様 前田 寿子 様 笠原 勉 様	今村 正 様 福武 正廣 様 竹内 和世 様 岡野 一昭 様 伊藤 彰信 様 小林 浩和 様 加藤 正叙 様 蔵口 真理 様 宮下 雅博 様 田代 雅彦 様 鈴木 健之 様 水田 涉子 様 吉原 剛一 様 本吉 丈夫 様 重田 鏡子 様 五嶋 滋之 様 笹川 統 様 柴 啓介 様 向山 佑子 様 岩上 裕子 様 田中 真知子 様 高田 明雄 様 柳岸 順 様 平野 透 様 竹中 洋介 様 藤 泰一郎 様 本條 陽子 様 福井 一夫 様 石田 勝世 様 山神 英司 様 長井 真理 様	黒河 英俊 様 廣瀬 敬章 様 北田 俊也 様 高見 康雄 様 岩本 みち子 様 堀川 佳津美 様 瀧本 篤 様 秋元 幸雄 様 中山 安弘 様 鈴木 健之 様 木村 則一 様 水田 涉子 様 吉原 剛一 様 本吉 丈夫 様 重田 鏡子 様 五嶋 滋之 様 笹川 統 様 柴 啓介 様 向山 佑子 様 岩上 裕子 様 田中 真知子 様 高田 明雄 様 柳岸 順 様 平野 透 様 竹中 洋介 様 藤 泰一郎 様 本條 陽子 様 福井 一夫 様 石田 勝世 様 山神 英司 様 長井 真理 様	島谷 桂子 様 森本 文子 様 青木 勝重 様 牧 裕子 様 南 佳菜子 様 岩川 由美 様 北爪 由紀夫 様 伊藤 隆 様 周藤 幸 様 山見 勝彦 様 庄司 浩 様 大貫 健司 様 藤本 久子 様 青木 香織 様 染谷 克人 様 伊藤 翔司 様 平井 智香 様 田中 久仁恵 様 飯浜 修 様 椎名 功 様 大内 裕子 様 小澤 田真司 様 米山 眞満 様 堀内 洋志 様 秋田 光祥 様 平野 弘子 様 藤原 康男 様 菅川 幸子 様 藤川 泉 様 吉澤 泉 様 宮村 忠良 様 長瀬 俊泰 様	大久保 慎一 様 金子 勝廣 様 石井 利行 様 古家 一郎 様 関 幸利 様 安達 茉莉子 様 岡 智子 様 梓澤 昂広 様 山崎 勇 様 井上 美幸 様 櫻井 めぐみ 様 山脇 啓啓 様 長谷部 理恵 様 中村 俊之 様 柴田 博志 様 阿部 隆夫 様 宮崎 文子 様 麻生 正信 様 古瀬 敏 様 小川 悠介 様 井上 靖代 様 鈴木 給美留 様 高橋 康之 様 山崎 進 様 小山 美知子 様 夢賢 浩一 様 藤川 康男 様 菅川 幸子 様 森山 節子 様 松浦 芳雄 様 大西 史子 様 菅原 史詠 様	渡瀨 洋子 様 本澤 昌宏 様 荒木 駿 様 青木 茉莉花 様 加治 啓子 様 鈴木 智子 様 猿橋 正樹 様 小林 辰男 様 大浦 喜成 様 佐藤 宣雄 様 菊地 明子 様 西村 修一 様 杉本 孝夫 様 萩原 朋子 様 金子 真理奈 様 林 哲治 様 佐藤 真希 様 数本 俊一 様 数本 泰子 様 数本 美介 様 数本 圭子 様 名取 順二 様 星野 文仁 様 名取 順二 様 小日向 志乃 様 尾崎 進 様 尾崎 進 様 宮村 忠良 様 長瀬 俊泰 様	河内 重人 様 荒木 理工 様 佐藤 真希 様 藤村 由貴子 様 石井 千明 様 大島 千秋 様 西倉 美奈 様 安藤 佳幸 様 横山 隆吉 様 杉森 光子 様 新井 公之 様 菅原 朋子 様 金子 真理奈 様 林 哲治 様 佐藤 真希 様 数本 俊一 様 数本 泰子 様 数本 美介 様 数本 圭子 様 名取 順二 様 星野 文仁 様 名取 順二 様 小日向 志乃 様 尾崎 進 様 尾崎 進 様 宮村 忠良 様 長瀬 俊泰 様
--	--	--	---	---	---	---	---	--	---



仕事の目的

どうすれば多くの人々に文化財をご覧いただけるかいつも考えています。近年は高精細複製画とプロジェクションマッピングで、作品の世界観をわかりやすくあらわしたり、TVやラジオに出演して、作品や作者を紹介しています。その目指す所は何かというと、何百年もの長い時間を経て遺された品々は、はかりしれない意味を持っているからです。歴史的な出来事などを知ることも重要ですが、品々には今を生きる人々にとって「現代的な意味」があり、それは明日を生きる糧であり、それこそを伝えたいと強く思っているからです。
(絵画・彫刻室研究員、文化財活用センター企画担当課長・松嶋雅人)



国宝「松林図屏風」長谷川等伯筆の高精細複製画
松林図に等伯の描いた山水図が重なり、等伯作品にしばしば登場するカラスが舞います

特別展「三国志」チケットプレゼント

特別展「三国志」(2019年7月9日(火)～9月16日(月・祝))→2ページ無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は8月13日(火)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース6-7月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで
- 9月20日(金)・21日(土)は22:00まで
- 11月3日(日・祝)・4日(月・休)は21:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館)、年末年始(12月26日(木)～2020年1月1日(水・祝))

- 8月13日(火)、10月15日(火)、2020年3月30日(月)は開館

- 6月11日(火)は臨時休館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月16日(月・祝))は、総合文化展のみ観覧無料

最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は7月10日(水)です。

「MUSEUM」679号(2019年4月15日発行)の掲載論文

《特集》「小原二郎氏旧蔵木彫像用材調査標本」の再調査

- ①「小原二郎氏旧蔵木彫像用材調査標本」について
金子啓明(東京国立博物館名誉館員)
 - ②「小原二郎氏旧蔵木彫像用材調査標本」の樹種
能城修一(明治大学黒曜石研究センター客員教授)
安部久(森林総合研究所木材加工・特性研究領域
組織材質研究室長)
 - ③魏氏桜桃とクスノキ科木材—清涼寺釈迦如来立像
および東寺兜跋毘沙門天立像の用材樹種—
藤井智之(森林総合研究所フェロー)
 - ④クスノキ製木彫像をめぐって
岩佐光晴(成城大学文芸学部教授/東京国立博物館名誉館員)
- お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価: 1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

■VR作品「空海 祈りの形」3月27日(水)～6月30日(日)

804年、空海は留学僧として唐に渡り、密教の正統な後継者となります。そして、人々を救う真の教えを日本に持ち帰りました。823年に東寺を帝より託された空海は、密教の教えの中心となる建物を講堂と位置づけ、その建築に取りかかります。講堂内部に空海が作り上げたものとは、言葉では表現できない究極の教えを伝えるための世界。密教彫刻の傑作とされている東寺講堂 立体曼荼羅の魅力VRで解き明かしてゆきます。

料金: 一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円、

未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円

*特別展「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅」のチケットご提示で、高校生以上のシアター鑑賞料100円割引

*所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイト(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度

口座番号: 00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

1 上	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00	特別展「国宝 東寺一空海と仏像曼荼羅」 特別展「美を紡ぐ 日本美術の名品」
2 日	作 13:30 考 14:30	
3 月	休館日	
4 火	庭 11:00	
5 水		
6 木	東 11:00	
7 金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00	
8 土	夜間開館 (21:00まで) 陶 14:30	
9 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00	
10 月	休館日	
11 火	臨時休館日	
12 水		
13 木	庭 11:00	
14 金	夜間開館 (21:00まで)	
15 土	夜間開館 (21:00まで) 本 14:00 法 15:00	
16 日	東 11:00 茶 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30 彫 15:00	
17 月	休館日	
18 火	G「奈良・長谷寺の難陀龍王立像」 14:00 本館11室	特別企画「奈良大和四寺のみほとけ」
19 水		
20 木		
21 金	夜間開館 (21:00まで)	
22 土	夜間開館 (21:00まで) 講「日本のよろい」13:30 平成館大講堂 刀 13:30	
23 日		
24 月	休館日	
25 火		
26 水		
27 木		
28 金	夜間開館 (21:00まで) G「レンズの向こうの博物館」18:30 本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)	
29 土	夜間開館 (21:00まで)	
30 日	初夏東博寄席 13:30*1	

1 月	休館日	
2 火	G「当館所蔵の沖縄のやきもの」14:00 本館14室 庭 11:00	
3 水		
4 木	東 11:00	
5 金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00	
6 土	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00	
7 日	作 13:30 考 14:30	
8 月	休館日	
9 火		特別展「三国志」
10 水		
11 木	庭 11:00	
12 金	夜間開館 (21:00まで)	
13 土	夜間開館 (21:00まで) 【三国志】講「リアル三国志の世界」13:30 平成館大講堂*5 W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:00 平成館考古展示室*2 陶 14:30	
14 日	W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:00 平成館考古展示室*2 近 13:00 浮 14:00 彫 15:00	
15 月・祝		
16 火	休館日	
17 水		親子のギャラリー「日本のよろい!」
18 木		
19 金	夜間開館 (21:00まで) W「よろい着用体験」11:00～16:30 本館特別4室*3	
20 土	夜間開館 (21:00まで) 講「東洋館で「三国志の時代」を考える」13:30 平成館大講堂 W「よろい着用体験」11:00～16:30 本館特別4室*3 本 14:00 法 15:00	
21 日	東 11:00 茶 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30	
22 月	休館日	
23 火	G「邪馬台国時代の土器」14:00 平成館考古展示室	
24 水		
25 木		
26 金	夜間開館 (21:00まで) W「よろい着用体験」11:00～16:30 本館特別4室*3 トーハクBEER NIGHT!*4	
27 土	夜間開館 (21:00まで) 【三国志】講「三国志から見た邪馬台国」13:30 平成館大講堂*5 W「よろい着用体験」11:00～16:30 本館特別4室*3 刀 13:30 トーハクBEER NIGHT!*4	
28 日	彫 15:00	
29 月	休館日	
30 火		
31 水		

【三国志】=特別展「三国志」関連事業。(7/13の申込みは締め切りました)
 *1=有料イベント。詳細は本誌14ページ *2=事前申込制。詳細は本誌12ページ
 *3=有料イベント。詳細は本誌5ページ *4=詳細は本誌14ページ
 *5=事前申込制。詳細は前号3ページ

(9/23まで) (9/16まで) (9/23まで)

- 講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ
- G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- W=ワークショップ、詳細は本誌12ページ
- 樹=託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料
- 作=ボランティアによるアートスタジオ、事前申込制 詳細は前号13ページ
- 本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
- 法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

- 茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)
- 庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
- 英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
- 庭=ボランティアによるたのめ散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(6月は「仏像の旅」、7月は「東洋館ハイライトツアー」をご案内します)
- 講=藝大大学院インターンによるギャラリートーク。(※6・7月は休止します)
 ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。